

個人質問

9月定例会市議会では、十八人の議員が、議案や市政全般についての質問を行いました。その中からいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

一般・行財政



政令市移行を目指し 民間の協議会設立

問 平成17年8月25日に発足した政令指定都市推進協議会の今後の取り組みは。

答 同協議会は、本市の政令市移行を支援するため百三十三団体で組織された民間団体で、設立総会で

岡山市に対して周辺自治体や国、県への積極的な働きかけを要望するとともに、市民の各界各層と共に全力で支援することが決定され、今後はさらな



政令市に向けて ~市役所から市街地を望む~

る会員募集 会議等の開催 政令市の調査研究 講演会等の開催 やリーフレット作成などの広報活動に順次取り組みものとなっている。

本市の財政状況分析

問 バランスシートや行政コスト計算書から、本市の財政運営についての分析を。

答 資産は、厳しい財政状況から投資を厳選している結果、有形固定資産等が横ばい・減少傾向にあり、合併による規模拡大の影響を除けば平成14年度末以降減少している。負債は、中核市比較で負債・正味資産合計に対する割合が高く将来の住民負担は大きい。市債発行額の抑制により減少傾向にある。また、税収入や16年度での地方交付税の減少により一般財源収入が減少する一方で、移転支出のコストが上昇傾向にあることから、会社の当期利益に当たる期中一般財源等増減額がマイナスとなっている。

市有施設の指定管理者 市民協働で選定を

問 市有施設への指定管理者制度導入について 管理者選定に当たり、審査委員会へ専門家や市民の参画は可能か 市全体の進捗状況の公表を。

答 必要に応じて専門家が参画できるよう事務処理基準を作成している。また、利用者の声を反映できるように市民の参加についても検討中だ 平成18年4月にはすべての施設が市直営が指定管理者で運営できるよう

制度適用の進捗状況をチェックしている。進捗状況については今後、わかりやすい情報提供に努めたい。

アントレプレナーシップ 事業制度の導入を

問 政策を企画提案した職員が事業実施まで担当するアントレプレナーシップ(起業家精神)事業制度を本市に導入する考えは。

答 職員の意識改革や組織の



まちづくり

御津町高度情報化施設 整備事業

問 新市建設計画に盛り込まれた御津町高度情報化施設整備事業の見通しは。

答 旧御津町では、平成16年度に国の補助を受け、公共施設等を光ファイバーで結ぶ地域情報通信ネットワーク基盤整備事業を実施しており、町からの提案で新市建設計画にも盛り込まれた。具体化については、デジタル放送開始に伴う難視聴対策等も含め、現在行っている地域住民のニーズ把握のためのアンケート調査の結果をもとに検討

下水道の不正使用 厳正に対応

問 下水道を不正に使用する事例があると聞くと、対処方針は。

答 無断接続による使用者等には、発見次第必要な手続きを履行させるとともに、過去にさかのぼり使用料の徴収を行う。なお、設置義務者が排水設備の設置に当たり事前確認を得なかった場合や無資格業者が工事を行った場合には条例に基づき五万円以下の過料を科すことができることとなっており、下水道